

令和6年度 第3回石狩市社会教育委員の会議 議事録（要約）

日 時 令和7年3月26日（水） 15時00分～16時40分

場 所 石狩市役所5階 第1委員会室

出席者

[出席委員（11名）]

木村 純・大橋 修作・二上 朋子・山田 治己・船木 幸弘・坂見 明信・森田 瞳・佐藤 功子
大井 慎吾・金谷 聡・坂本 賢哉

[欠席委員（4名）]

高橋 典只・近藤 宏・田崎 栄子・出口 寿久

[事務局（5名）]

社会教育部長 伊藤 学志・課長 斉藤 晶・主事 大澤 芽・主事 藤田 蓮飛・主事 高津 柊

[傍聴者（0名）]

（事務局）

只今から令和6年度第3回石狩市社会教育委員の会議を開催させていただきます。

初めに、木村委員長よりご挨拶をいただきます。よろしくお願いいたします。

（木村委員長）

皆さん、こんにちは。

本日は、ご多用のところご出席いただき、ありがとうございます。

国会では与党が半数割れを起こしたり、高校が無償化されたり、103万円の壁の問題など、さまざまなことが議論されております。ですがこれらがゆっくり議論されるのではなく、政党間の取引のように使われるというのは良くないと感じております。

高校無償化の問題も、もっと議論すべきことがあるのではと感じているのですが、アメリカのトランプ大統領しかり、必要な議論が行われていないのではと感じます。

昔は「未来はきっと素晴らしい世界になっている」と思っていたのですが、望んだようにはなかなかありません。これから希望のある未来にしていくために様々なことを話し合っていければと思います。皆さまよろしくお願いいたします。

それでは、会議次第にしたがって進めていきたいと思っております。最初に報告の1つ目、「教育プランと提言書の振り返りについて」ということで、事務局からお話しいたします。

報告1 教育プランと提言書の振り返りについて

（事務局 斉藤）

皆さん、こんにちは。

私の方から、社会教育委員の皆様からの提言がどのように教育プランに反映されたかを説明さ

させていただきます。

～資料1 石狩市教育プラン内 説明～

・教育プラン 8p ≪8 コミュニティ活動の状況≫

「本市の社会教育には、～仕組みづくりが求められています」部分

・教育プラン 13p ≪方針 6 学び合いを通じ、持続可能な地域社会づくり≫

「持続可能な地域社会づくりには、～受援力を高めることも重要です」部分

「学びの影響は個人にとどまらず、～自律的で持続可能な地域社会の形成を目指します」部分

・教育プラン 30p ≪施策 24 生涯学習の推進≫

具体的な取り組みにそれぞれ反映されている

上記についてそれぞれ反映されている。

(木村委員長)

ありがとうございました。

短い時間の中で作った提言でしたが、「社会教育の大切さ」を伝えることができたのではないかと思います。今後も社会教育の大切さが伝わるような活動をしていきたいと思っています。

報告2 令和6年度事業実績報告について

(木村委員長)

続いての議題に入りたいと思います。

事務局から説明をお願いいたします。

～事務局より説明～

(木村委員長)

只今ご説明をいただきました内容について、何かご意見・ご質問のある方はいらっしゃいますか。

特に無いようですので、議題に移りたいと思います

議題1 令和7年度主要な社会教育事業の概要（案）について

(木村委員長)

議題に入りたいと思います。まず、令和7年度主要な社会教育事業の概要（案）について事務局から説明をいただきます。

～事務局より説明 資料3 令和7年度主要な社会教育事業の概要～

（木村委員長）

只今の説明について、何かご質問などある方はいらっしゃいますでしょうか。

（大井委員）

生涯学習講座の新規事業、「デジタルリテラシー講座」はどの年齢層を対象としたものなのでしょうか。

（事務局）

一般市民の方を対象としておりますが、スマートフォンの使用などに疎い高齢者の方を中心に持っているスマートフォンを使いこなせるような講座を考えております。

（二上委員）

事業にかかる予算をもっと細かく示すことはできないのでしょうか。

（事務局）

あまり細かく示すと事業内容ではなく、事業の中で何に使うか、などといった分け方になってしまうのでわかりにくくなってしまうと思い、このような形に致しました。

（木村委員長）

細かい予算が分かれば細かい箇所についても意見を上げやすい、という趣旨だと思うのですが、現在の時点で予算が分かっているのでしょうか、それともこれから細かい事業内容で配分していくのでしょうか。

（事務局）

現時点で細かい予算に分かれており、ご希望であれば内容をお伝えすることもできます。しかし細かく分けると説明にも時間を多く割かなければなりませんし、昨年度までも同様の形で提案させていただいておりますので、この形にさせていただいております。

（木村委員長）

わかりました。ありがとうございます。ほかにご意見、ご質問などある方はいらっしゃいますでしょうか。

質問は以上のようなようですので次の議題に移らせていただきます。

2 令和7年度社会教育委員の取り組みについて

(木村委員長)

私たちの任期は令和7年度までございますので、令和6年度は教育プランへの提言をするという活動をしていましたが、来年度はどんな活動をしようかということで、私の方で提案を作って参りました。

～資料説明（来年度の社会教育委員の会議の課題についての提言）～

・来年度は高齢者の現状と社会教育の課題をテーマとして提案
教育プランへの提言作成の中でのインタビューで課題が多く見えた。しかし、提言には高齢者の問題について十分に触れられなかった。
高齢者をテーマとして、若者にもインタビューを行い、現状と課題を明らかにしたい。

私の提案としては以上になりますが、来年度取り上げたいことに関して来年度の最初の会議で決定したいと思いますので、今のことに限らず皆さんからの提案をお待ちしております。

(山田委員)

私は高齢者の一員ですが、高齢者に関する現状を把握することに賛成です。また、教育プランを見ていて、不登校の問題についても取り上げるべきであると感じました。

(木村委員長)

ありがとうございます。次の会議で次回の会議で検討することに関しては皆さんよろしいでしょうか。

他に意見などございますか。

(坂見委員)

私は人事異動で次回以降の会議に参加できなくなってしまったのですが、次回に向けていくつか情報提供させていただきたいと思います。

1 点目は、ウェルビーイングについてです。ウェルビーイングについて取り上げることにってはとても良いことであると思います。高齢者について考える中でも対極となる子どもたちにもウェルビーイングについてどう考えているか聞くことが必要であると思います。「全国学力・学習状況調査」が毎年行われているのは皆さまご存じかと思いますが、その質問項目の中にウェルビーイングについての質問が昨年度から加わっています。そういったものから内容を読み解き、今の子どもたちはどういったことを考えているのか、ということをつまえて高齢者へのインタビューをしていただければと思っています。

2 点目は読むことについて、いろいろなメディアがあると木村先生がおっしゃられていたかと思います。紙の物を否定するわけではありませんが、今の子どもたちと高齢者がどんな価値観を

持ってメディアに接しているかを調査することは必要なのではないのでしょうか。

以上、私の意見です。

(木村委員長)

ご提案、大変参考になりました。ありがとうございます。

次回の会議のひと月ほど前にはもっと細かい形で議論の進め方をお知らせしたいと思います。

他に意見などございますか。

(金谷委員)

私も3月からPTA連合会の担当が変わり、新たな方が来ることになりましたが、一つ情報提供させていただきます。

私は石狩市議会の厚生常任委員会にも所属しているのですが、その中で子ども食堂を先進的に取り組んでいる埼玉県の事例を視察してきましたことがあります。そこでは、「学校と同じ数の子ども食堂」というのを目標にしておりました。石狩市では現在自力で通うことのできないような生徒の多い学校や特認校である生振小学校のような学校がございます。そういった箇所にも子ども食堂があっても通える子供が少ないかと思いますので、適正な数、場所についても議論いただければと思います。

(木村委員長)

様々な形で教育を受ける必要がある方は沢山いらっしゃるわけで、そういったことも考えなければなりませんね。

来年度も様々なことについて議論する必要があるかと思いますが、皆さんよろしくお願いいたします。

(木村委員長)

質問等なければ、これで令和6年度第3回石狩市社会教育委員の会議を終わります。

お疲れ様でした。